

19年度予算のあらまし

まちの整備と発展へ64億円

平成19年度当初予算が3月7日から15日までの会期で開かれた3月定例議会で原案通り可決され、一般会計と特別会計の総予算額は63億7860万円となりました。一般会計は37億7700万円で、前年度（18年度）と比較して2億3500万円（6.6%）の増額、平成14年以来5年ぶりの増額の予算となりました。この一般会計予算は、緊急を要する平泉バイパス整備事業などに係る積極的予算となっています。

一般会計歳入

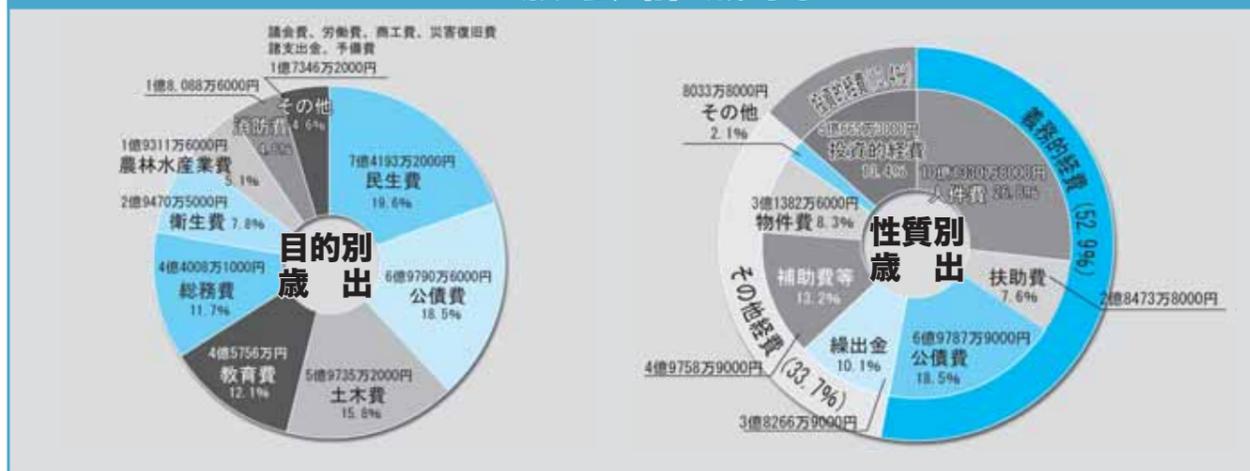


歳入

歳入を見ると、自主財源では、税制改正により町税が前年度当初比6974万6000円の増額となりました。また、各種交付金や臨時財政対策債などの減収を補うため、主要基金の取り崩しを行なっています。

依存財源では、三位一体の改革により地方譲与税が前年度当初比6100万円の減額となりましたが、平泉バイパス整備事業をはじめとする道路新設改良事業の増加により、国庫支出金が7835万1000円の増額、町債にあっては3180万円の増額となりました。

一般会計歳出



歳出

歳出を目的別に見ると、民生費が7億4193万2000円と最も大きな割合を占めています。次いで公債費が6億9790万6000円、土木費5億9735万2000円、教育費4億5756万円、総務費4億408万1000円、以下衛生費、農林水産業費と続きます。

性質別に見ると、普通建設事業費などの投資的経費は、最終年度を迎えた平泉バイパス整備事業などの道路新設改良事業の増加により5億665万3000円と、前年

度当初比1億2293万8000円の増額となりました。

義務的経費については、障害者自立支援法や児童手当法の改正、幼保一体化に伴う保育所関連経費の増加により扶助費が3268万7000円増額しました。また、本年度からピークとなる公債費が7242万8000円増額したことなどから、全体で19億9592万5000円、前年度当初比で1億2873万6000円の増額となりました。

義務的経費の増加により財政の硬直化が進行しています。このため、物件費を対前年度比1904万円減額するなど、歳出の抑制に努めました。

主な事業と予算額（※は新規事業）

投資事業

| | |
|--------------------|-----------|
| 町道整備事業 | |
| （中学校線・坂下線・志羅山線） | 292,498千円 |
| 特別史跡無量光院跡公有化事業 | 28,316千円 |
| 特別史跡無量光院跡保存修理事業 | 20,041千円 |
| 平泉遺跡群発掘調査事業 | 15,238千円 |
| 準用河川笹谷川改修事業 | 14,210千円 |
| 浄化槽設置整備事業補助金 | 12,560千円 |
| 県営経営体育成基盤整備事業負担金 | 9,148千円 |
| ⑩公民館・体育館下水道等整備事業 | 8,000千円 |
| 水辺プラザ敷地整備事業 | 6,000千円 |
| 新しいわて農業担い手支援総合対策事業 | 4,000千円 |
| ⑩平泉保育所園庭整備事業 | 3,755千円 |
| ⑩旧小島小学校体育館解体事業 | 3,500千円 |

主要事業

| | |
|-----------------------|-----------|
| ⑩後期高齢者医療システム改修事業 | 11,292千円 |
| ⑩畜産担い手育成総合整備事業 | 11,994千円 |
| 地域活力推進費（行政区特別枠） | 9,756千円 |
| うち、農地・水・環境保全向上対策事業 | 3,256千円 |
| ⑩世界遺産フォーラム開催事業 | 7,205千円 |
| 標柱・説明板等設置事業（遺跡関連） | 6,964千円 |
| 景観形成推進事業 | 4,688千円 |
| ⑩放課後子ども教室推進事業 | 3,099千円 |
| ⑩公式史跡ガイドブック英語版作成事業 | 3,011千円 |
| 平泉観光推進実行委員会事業補助金 | 2,700千円 |
| 観光ルネサンス補助金 | 2,500千円 |
| 青少年劇場開催事業 | 1,265千円 |
| ⑩仙台・宮城DC推進協議会負担金 | 1,000千円 |
| 一関地区広域行政組合負担金（環境衛生部門） | 128,608千円 |
| （介護保険部門） | 87,970千円 |
| 消防事務委託負担金 | 146,606千円 |

一部事務組合等負担金

各会計別総括表（単位：千円）

| 会計別 | 平成19年度 | 平成18年度 | 比較 |
|--------------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | 3,777,000 | 3,542,000 | 235,000 |
| 老人保健特別会計 | 794,000 | 845,400 | 51,400 |
| 国民健康保険事業勘定 | 795,200 | 740,800 | 54,400 |
| 特別会計 診療施設勘定 | 51,400 | 51,500 | 100 |
| 健康福祉交流館特別会計 | 61,700 | 58,000 | 3,700 |
| 町営駐車場特別会計 | 70,000 | 44,200 | 25,800 |
| 下水道事業特別会計 | 388,000 | 368,300 | 19,700 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 58,200 | 60,700 | 2,500 |
| 簡易水道事業特別会計 | 121,400 | 137,600 | 16,200 |
| 水道事業会計 3条予算 | 146,200 | 142,000 | 4,200 |
| 4条予算 | 115,500 | 124,400 | 8,900 |
| 合計 | 6,378,600 | 6,114,900 | 263,700 |

地方債現在高（見込み）（単位：千円）

| 会計別 | 平成19年度 | 平成18年度 | 比較 |
|--------------------|------------|------------|---------|
| 一般会計 | 6,072,771 | 6,360,237 | 287,466 |
| 国民健康保険特別会計（診療施設勘定） | 36,854 | 39,012 | 2,158 |
| 下水道事業特別会計 | 2,647,574 | 2,689,863 | 42,289 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 754,234 | 772,288 | 18,054 |
| 簡易水道事業特別会計 | 663,223 | 682,200 | 18,977 |
| 水道事業会計 | 1,155,081 | 1,161,725 | 6,644 |
| 合計 | 11,329,737 | 11,705,325 | 375,588 |

町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、19年度末残高見込みは全会計合わせて113億2973万7000円で、町民1人当たりすると約128万1000円となります。町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

一般会計の町民1人当たりの予算額は**426,924円**（397,130円）となります。

| 民生費 | 公債費 | 土木費 | 教育費 | 総務費 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 83,863円（79,785円） | 78,886円（70,129円） | 67,520円（50,374円） | 51,719円（54,180円） | 49,744円（50,897円） |
| 衛生費 | 農林水産業費 | 消防費 | 商工費 | その他 |
| 33,311円（31,558円） | 21,828円（20,516円） | 20,446円（20,264円） | 9,745円（9,733円） | 9,862円（9,694円） |

平成19年3月1日現在の人口8,847人、（ ）内は前年度の数値、平成18年3月1日現在の人口8,919人でそれぞれ計算